

Lアラート 警戒レベルと地図化対応について

一般財団法人 マルチメディア振興センター
Foundation for MultiMedia Communications

2019年6月27日

目次

1 背景	P.2
2 「避難勧告等に関するガイドライン」の改定に伴う対応	P.3
3 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応	P.4
4 XML下位バージョン及び他フォーマットへの変換	P.7
5 スケジュール（案）について	P.9

■ 2019年3月29日改定「避難勧告等に関するガイドライン」に伴う対応

- 警戒レベルの導入

「防災情報を5段階の警戒レベルにより提供することなどを通じて、受け手側が情報の意味を直感的に理解しやすいものとし、住民の主体的な行動を支援」することを目的に導入。

- 警戒レベル5に対応した「避難指示(緊急)」より上位の発令の導入

「警戒レベル4に避難勧告、避難指示(緊急)、警戒レベル5に災害発生情報を位置付け、避難のタイミングを明確化」することを目的に導入。

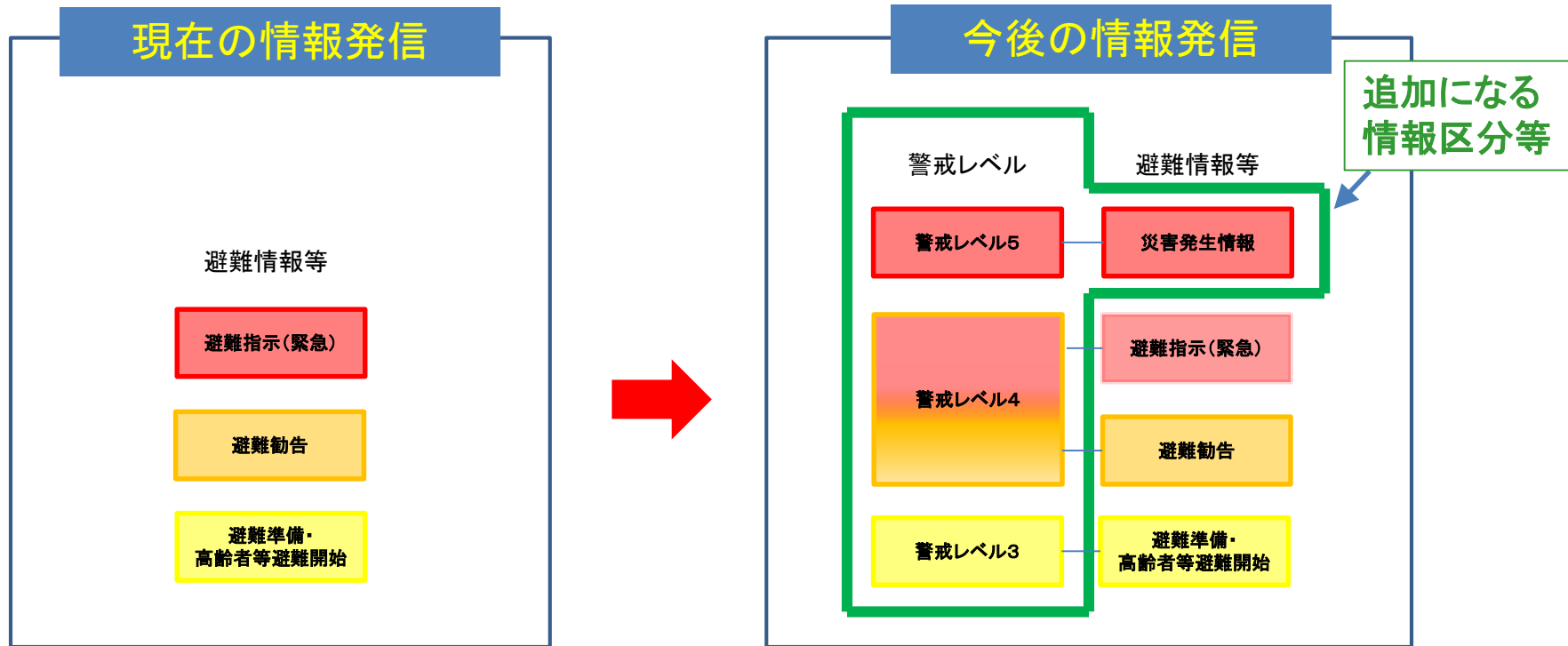
■ 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応

総務省が2016年度より取り組んでいる「Lアラート情報の地図化システムの標準仕様策定」につき、2018年度で標準仕様(案)が示された。

2019年度「Lアラートを活用した災害対応支援システム構築に関する実証」において、実証対象都道府県の防災情報システムに「Lアラート情報の地図化システムの標準仕様(案)」に基づいた実装を行う予定となっている。

2 「避難勧告等に関するガイドライン」の改定に伴う対応

- 2019年3月29日改定「避難勧告等に関するガイドライン」に伴う対応
 - 「警戒レベル」
新しい情報として、新規に要素を追加する。
 - 「避難指示(緊急)の上位の発令」
避難情報等の取り得る値に「災害発生情報」を加える。



3 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応

■ 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応

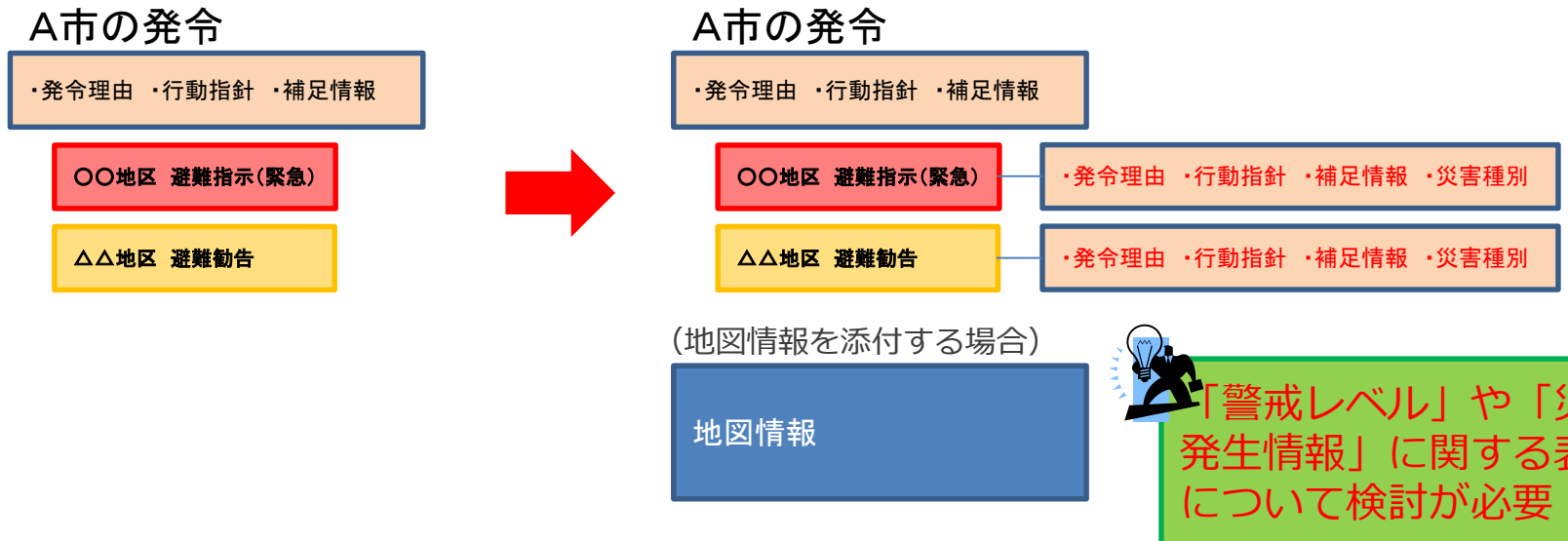
- 地図情報を添付するための要素を追加

※地図情報を添付しない場合には当該要素は省略される。

- 地図化に伴う表現力強化のための要素を追加

- 「災害種別」設定用に要素を追加(発令地区別)
- 発令理由、避難行動指針、補足情報を発令地区毎に設定する要素を追加
(現バージョンは、市町村単位での設定。)

※設定は任意だが、地図情報を添付する場合は設定することを推奨。



<参考> 2つの案件を合わせた発信イメージ

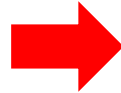
現在の情報発信

A市の発令

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報

〇〇地区 避難指示(緊急)

△△地区 避難勧告



今後の情報発信

(地図情報を添付する場合)

A市の発令

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報

〇〇地区
警戒レベル4 避難指示(緊急)

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報 ・災害種別

△△地区
警戒レベル4 避難勧告

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報 ・災害種別

地図情報

(地図情報を添付しない場合)

A市の発令

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報

〇〇地区
警戒レベル4 避難指示(緊急)

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報 ・災害種別

△△地区
警戒レベル4 避難勧告

・発令理由 ・行動指針 ・補足情報 ・災害種別

<参考> XMLのイメージ

現在のXML(避難勧告の場合)

```
<edxIde:xmlContent>
<pcx_ev:EvacuationOrder>
<pcx_ev:Detail>
  <pcx_ev:Sort>避難勧告</pcx_ev:Sort>
  <pcx_ev:IssueOrLift>発令</pcx_ev:IssueOrLift>
  <!-- 対象地区(ループ構造) -->
</pcx_ev:Detail>
</pcx_ev:EvacuationOrder>
</edxIde:xmlContent>
```



取込後のXML(避難勧告の場合)

```
<edxIde:xmlContent>
<pcx_ev:EvacuationOrder>
<pcx_ev:Detail>
  <pcx_ev:AlertLevel>警戒レベル4</pcx_ev:AlertLevel>
  <pcx_ev:Sort>避難勧告</pcx_ev:Sort>
  <pcx_ev:IssueOrLift>発令</pcx_ev:IssueOrLift>
  <!-- 対象地区(ループ構造) -->
</pcx_ev:Detail>
<pcx_ev:AttachmentFiles>
  <pcx_add:File>
    <pcx_add:Caption>地図情報</pcx_add:Caption>
    <pcx_add:URI>areas_1235.json.gz</pcx_add:URI>
  </pcx_add:File>
</pcx_ev:AttachmentFiles>
</pcx_ev:EvacuationOrder>
</edxIde:xmlContent>
```

添付された地図情報を参照するための記述

地図情報を添付する場合、緑字で示した各要素が記述される。

添付された
地図情報

```
<edxIde:contentkeyword>
  <edxIde:valueListUrn>ev:attachementPath</省略>
  <edxIde:value>areas_1235.json.gz</edxIde:value>
</edxIde:contentkeyword>
<edxIde:nonxmlContent>
  <edxIde:mimeType>xxx/x-topo+json+gz</省略>
  <edxIde:digest> ~ </edxIde:digest>
  <edxIde:contentDate>~地図データ~</省略>
</edxIde:nonxmlContent>
```

4 XML下位バージョン及び他フォーマットへの変換



■ 他フォーマット(TVCML、HTML)への変換

今回のXML仕様改定で「追加要素等」を変換する為の項目が無いこと、2021年9月30日でサポート停止となることから、追加要素等の変換は行わない方針とする。

(当該フォーマット利用者は順次XMLに切り替え中)

■ XML下位バージョンへの変換

従来、XMLのバージョンアップにおいては、下位バージョンへの変換を行ってきたが、以下の考えにより、下位バージョンへの変換は行わない方針とする。

- 2019年3月29日改定「避難勧告等に関するガイドライン」に伴う対応

「警戒レベル」については、住民への伝達情報に加える事が必須と位置付けられており、下位バージョンのXML要素には該当する要素が無く、他要素の変換を行っても、住民への伝達情報に加える事が必須となっている「警戒レベル」が失われてしまう事になる。

また、現行及び古いバージョンで受信している情報伝達者に、住民の安心安全に必要な情報を追加した最新のXMLバージョンでの受信に移行させる事にも繋がる。

- 「Lアラート情報の地図化」に伴う対応

「地図情報添付サポートのための要素」「地図化に伴う表現力強化のための要素」については、下位バージョンのXML要素には該当する要素が無く、変換を行っても、地図情報を活用した情報伝達に繋がらないと思われる。

また、地図情報を活用した情報伝達に繋げるためにも、最新のXMLバージョンでの受信に移行させる必要があると思われる。

4 XML下位バージョン及び他フォーマットへの変換



【XML変換対応表】

発信XMLバージョン	配信フォーマット	FLG	補足説明	
Ver2.0 (警戒レベル有) (地図情報有)	TVCML	△	変換可能な要素のみ配信	
	HTML	△	変換可能な要素のみ配信	
	XML	Ver2.0	○	
		Ver1.5以前	—	配信しない
Ver2.0 (警戒レベル有) (地図情報無)	TVCML	△	変換可能な要素のみ配信	
	HTML	△	変換可能な要素のみ配信	
	XML	Ver2.0	○	
		Ver1.5以前	—	配信しない
Ver1.5以前	TVCML	○	現在と同様に配信	
	HTML	○	現在と同様に配信	
	XML	Ver2.0	○	Ver2.0の要素無しで配信 Ver1.5以前で配信する場合 と同じ
		Ver1.5以前	○	現在と同様に配信

FLG: 発信されたXML各要素が変換により失われるか否かで記入。

5 スケジュール（案）について



- ★ 2019年6月27日 Lアラート運営諮問委員会で対応案及びスケジュール説明
- 2019年7月中旬 今後の対応スケジュールを利用者に通知
- 2019年10月初旬 仕様公開
- 2019年12月中旬 テストノードリリース
(適合検査の受付開始)
- 2020年4月初旬 本番ノードリリース
(発信可能な都道府県より順次本番開始)



一般財団法人

マルチメディア振興センター

Foundation for MultiMedia Communications